

ロームシアター京都

自主事業ラインアップ

— 2020.10 — 2021.3



ROHM Theatre Kyoto

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

ロームシアター京都 2020年度 自主事業ラインアップ

この度ロームシアター京都は、2020年度の自主事業ラインアップを発表します。

京都に「劇場文化をつくる」ことを目指し、2016年1月にオープンしたロームシアター京都は、早くも2021年1月に開館5周年を迎えます。そこで2021年1月~3月の期間は「ロームシアター京都開館5周年記念事業」と題し、これまで培った経験とネットワークを総動員して、特色ある事業を展開します。もちろん1年間を通じ、これまで同様に洋の東西を問わず、世界水準の優れた作品をお届けするとともに、劇場の財産となる作品のプロデュースや、次代を担う芸術家の育成にも引き続き取り組みます。また京都のさまざまな施設や団体と連携し、世代やバックグラウンドの違いを越えた人々が参加できる多彩なプログラムを通じて、劇場をハブに多様な出会いを生み出します。

日常的に劇場へ人々が集うとはどういうことでしょうか？ その姿を目指してオープンに漕ぎつけ、実際に日々多くの方にお越しいただき、現実のものとなった今、その意味について改めて考えるときに来ているように思います。

ロームシアター京都は施設としてだけでなく、内容としても開かれた場でありたいと考えてきました。内容として開かれているというのは、様々な興味・関心からアクセス可能だということです。また、大きな声、多数の声だけでなく、そうではない声にも耳を傾け、拾い上げていかななくてはならないということです。そうすることで、全ての人にとって思わぬ出会いのきっかけを用意することができ、さらに新たな対話を生み出していける…。ロームシアター京都で生まれた日々の営みが蓄積され、そこに人々が関心を寄せるサイクルは徐々に生まれ始めています。

次の5年、そして10年を想像したとき、このサイクルが外へ広がっていくことを夢見ます。ロームシアター京都を訪れた人、関わった人が別のフィールドに移ったとき、ここで得た経験が作用し、何か新しい気づきや変化が促されるとしたら…と考えるのです。そのようにして、じわじわと「劇場の何か」が世の中に波及していくとすれば、それこそが「劇場文化」だと言えるのではないのでしょうか。

2020年4月 プログラムディレクター 橋本裕介

新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業や生活に多大な影響を受けられた全ての皆様にお見舞い申し上げます。ロームシアター京都は、4月10日から5月19日までの閉館を経て、徐々に活動を再開し、7月下旬から自主事業の上演も再開しました。感染防止に100%確実な方法もなく、今後の通常活動に見通しが立たない中ですが、出来ることからやっていく姿勢で臨んでいます。残念ながら今年度の実施を見送った公演も複数ありますが、一方で形式を変えることで実施の目処の立った事業や、昨年度末の中止を振り替えて実施することになった事業もあります。事態を楽観視して場当たりに縮小するのではなく、厳しい現状認識のもとで、少しでも可能なことを見つけ、鑑賞の機会を増やしていきます。そうすることで劇場の活動を継続し、舞台表現を多くの方々に確実に届けたいと考えています。

月	日	会場	事業名	ジャンル
10	1 ^[木]	メインホール	第350回 市民寄席 ※5月からの振替公演	演劇
	3 ^[土] -25 ^[日]	ローム・スクエア ほか	OKAZAKI PARK STAGE 2020 KYOTO PARK STAGE 2020 プログラム	総合
	16 ^[金] -18 ^[日]	サウスホール	ダムタイプ新作パフォーマンス「2020」上映会 KYOTO PARK STAGE 2020 プログラム	総合
11	27 ^[火] 、28 ^[水]	メインホール	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2020 モーツァルト：歌劇『魔笛』	音楽
	2 ^[月] 、3 ^[火・祝]	サウスホール	ロームシアター京都 レパートリー作品 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』	演劇
	13 ^[金] -15 ^[日]	ノースホール	地域の課題を考えるプラットフォーム 舞台作品『Pamilya (パミリア)』映像上映、関連プログラム	学び
12	19 ^[木] -23 ^[月・祝]	メインホール	PARCO劇場オープニング・シリーズ “ねずみの三銃士”第4回企画公演 「獣道一直線!!!」	演劇
	24 ^[火]	サウスホール	第353回 市民寄席	演劇
	5 ^[土] 、6 ^[日]	サウスホール	フランソワ・ジュニョー&ニノ・レネ 「不確かなロマンス——もう一人のオーランドー」	舞踊
1	3 ^[木] -6 ^[日]	ノースホール	U35 創造支援プログラム“KIPPU” 2 シラカン	総合
	10 ^[木] -13 ^[日]	ノースホール	U35 創造支援プログラム“KIPPU” 3 スペースノットブランク	総合
	10 ^[日]	メインホール	シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4 雅楽——現代舞踊との出会い★	音楽
2	17 ^[日]	メインホール	京都市交響楽団×石橋義正 パフォーマティブコンサート「火の鳥」★	音楽
	24 ^[日]	サウスホール	第354回 市民寄席★	演劇
	27 ^[水] -31 ^[日]	ノースホール	レパートリーの創造 松田正隆作・演出『シーサイドタウン』★	演劇
3	3 ^[水] -3.28 ^[日]	ロームシアター 京都 ほか	KYOTO EXPERIMENT★ 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING	総合
	19 ^[金] 、20 ^[土]	ノースホール	サンガツ「¿Music?」	音楽
	27 ^[土] 、28 ^[日]	サウスホール	シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.3 人形浄瑠璃 文楽★	演劇
未定	未定	3階共通ロビー (予定)	ホリデー・パフォーマンス Vol.6	総合
	17 ^[水] -19 ^[金]	京都市地域 文化会館	プレイ!シアター in Spring 2021 ステージプログラム	総合
	28 ^[日]	メインホール	ハンプルク・バレエ団 「ベートーヴェン・プロジェクト」★	舞踊
未定	未定	3階共通ロビー (予定)	ホリデー・パフォーマンス Vol.7	総合

※「小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIX」につきましては、本年度の開催は中止となりました ★ロームシアター京都開館5周年記念事業

5周年記念事業

ロームシアター京都 開館5周年記念事業

2021年1月から3月までの期間に開催する、ロームシアター京都の自主事業を「開館5周年記念事業」として展開します（各事業の詳細は次ページ以降をご覧ください）。

対象事業

シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4「雅楽 ——現代舞踊との出会い」

京都市交響楽団×石橋義正 パフォーマティブコンサート「火の鳥」

第354回 市民寄席

レパトリーの創造 松田正隆作・演出『シーサイドタウン』

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING

シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.3「人形浄瑠璃 文楽」

ハンプルク・バレエ団「ベートーヴェン・プロジェクト」

ロームシアター京都 開館5周年記念誌

ロームシアター京都の開館5周年を記念し、ロームシアター京都のこれまでとこれからをまとめた冊子を発行します。撮りおろしの建築グラビアや過去公演の記録写真、リニューアルの経緯レポートや5年間の各種データ類、参加アーティストからのメッセージなど盛りだくさんのコンテンツを濃縮した、永久保存版の1冊です。

発行 | 2021年1月10日（予定）

仕様 | ハードカバー、208ページ（予定）

ロームシアター京都総合案内、京都岡崎 蔦屋書店等で販売予定（料金未定）

ロームシアター京都 開館5周年記念ロゴ



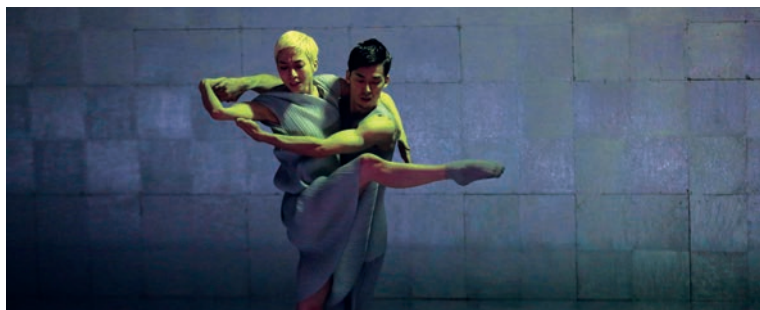
SINCE 1960 / 2016

2021年1月10日に迎えるロームシアター京都の開館5周年は、京都会館のオープンから60周年の期間にもあたります。リニューアル間もない新しさと同時に歴史も感じられるロームシアター京都という場を体現するため、「5」の数字の背景に「60」を潜ませロゴマークとしてまとめています。

ロームシアター京都開館5周年記念事業
シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4
雅楽 —— 現代舞踊との出会い



Photo: T.Tairadate



Noism0「鏡の中の鏡」撮影：篠山紀信

日本の伝統音楽“雅楽”と現代舞踊が出会い、伝統を更新する。
開館5周年を寿ぐ、華やかなコラボレーション！

ロームシアター京都の開館5周年記念日を華やかに彩るスペシャルなコラボレーション公演。2017年度から始まった伝統芸能の継承と創造を目指すシリーズ「舞台芸術としての伝統芸能」第4弾です。古典作品はもちろん、現代作品の演奏にも積極的に取り組む雅楽演奏団体・伶楽舎に、リ्यूとびあ専属舞踊団Noism Company Niigataとその芸術監督である金森穂をコラボレーターに迎え、新しい“雅楽”のかたちを探ります。それは「雅楽」の新たな魅力を引き出し、京都らしい「温故知新」を体現する舞台となるはずです。前半は伶楽舎および京都の雅楽演奏団体・音輪会による雅楽演奏、後半はNoism0と伶楽舎によるコラボレーションを行います。

演奏 | 伶楽舎、音輪会 **振付・演出** | 金森 穂 **出演** | Noism0（ノイズムゼロ）

曲目 | 芝祐靖 作曲：巾零輪説（伶楽舎）／ 双調音取、催馬楽「新しき年」（伶楽舎）
声明「普賢讃」、舞楽「陵王」（音輪会）
武満徹 作曲：秋庭歌一具（伶楽舎+Noism0）

伶楽舎／Reigakusha

雅楽演奏グループ。1985年に芝祐靖（元芸術院会員、2017年文化勲章受章）が創立し、長らく音楽監督を務めた。現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の委嘱や演奏など、幅広い活動を展開。現代曲、復元曲等のCDも多数録音。国内外で演奏活動を行う。2002年中島健蔵音楽賞特別賞、芸術祭レコード部門優秀賞受賞。2016年佐治敬三賞受賞。2020年ENEOS音楽賞邦楽部門受賞。他に解説入りの親しみやすいコンサートや小・中学生のためのワークショップなども多く行い、雅楽への理解と普及に努める。

金森 穂／Jo Kanamori

演出振付家、舞踊家。リ्यूとびあ 新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督／Noism芸術監督。17歳で単身渡欧、モリス・ベジャール等に師事。NDT2在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍後帰国。04年4月、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。京都芸術センター運営委員。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞、第60回毎日芸術賞ほか受賞歴多数。



撮影：篠山紀信

全席指定 S席5,000円／A席3,000円 [10月24日（土）一般発売開始]

※ユース（25歳以下）はご招待いたします（申込方法は、劇場WEBサイトをご覧ください）

● ロームシアター京都5周年記念セット券対象公演（一般S席セット券9,000円）

主催 | 京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団） 特別協賛 | 公益財団法人 稲盛財団

日時
2021年
1月10日 [日]
14:00開演
会場
メインホール

主催

ロームシアター京都開館5周年記念事業
第354回

市民寄席



口上（撮影：佐々木卓男）

第354回はロームシアター京都開館5周年記念事業として、祝いの口上を含む、華やかな番組をお贈りします。

1957年にスタートし、京都では恒例の落語会として長く親しまれてきた「市民寄席」。幅広い世代に笑いを届ける上方落語の生の迫力と寄席の雰囲気をご体験ください。

第354回

番組 | 「江戸荒物」林家 染左、「ふぐ鍋」桂 枝女太、「百年目」桂 福団治
「星野屋」桂 文之助、「多事争論」笑福亭 仁智

日時

2021年
1月24日〔日〕
13:30開演

会場

サウスホール



桂 福団治



笑福亭 仁智



桂 文之助



桂 枝女太



林家 染左

その他の開催内容

第350回 10月1日(木) 19:00開演 ※5月からの振替公演

番組 | 「大安売り」 月亭 遊真／「お血脈」 桂 阿か枝／
「新まんじゅうこわい」 笑福亭 岐代松／「猫の忠信」 桂 米團治

第353回 11月24日(火) 19:00開演

番組 | 「煮売屋」 笑福亭 大智／「掛け取り」 桂 しん吉／
「振り込め!」 桂 三風／「くしゃみ講釈」 笑福亭 枝鶴

全席指定 第350回、第353回 | 前売1,800円／当日2,000円／ユース(25歳以下)1,500円

第354回 | 前売2,300円／当日2,500円／ユース(25歳以下)1,500円

[第350回：発売中／第353回：11月1日(日)一般発売／第354回：11月24日(火)一般発売]

主催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

主催

ロームシアター京都開館5周年記念事業
京都市交響楽団×石橋義正

パフォーマティブコンサート「火の鳥」



京都が世界に誇る才能が結集!

ここでしか体験できない、新しいオーケストラコンサート

2021年は、イーゴリー・ストラヴィンスキーの没後50年。彼が活躍した時代のロシアにおいて、新しい舞台芸術の潮流が生まれました。それは、20世紀初頭に産声をあげ、現代の舞台芸術界のみならず、絵画や音楽、ファッションなどあらゆる芸術運動に影響を与えたバレエ団「バレエ・リュス」です。その活動は現代においてなお、伝説的に語り継がれており、現代音楽の祖とも言われるエリック・サティやストラヴィンスキーなど、当時最先端の才能とコラボレーションを行ない、総合舞台芸術としてのバレエを築き上げていきました。そのようなバレエ・リュスのスピリットにインスパイアされ、音楽・舞踊・美術を融合した“パフォーマティブコンサート”を、京都が世界に誇る才能を結集させて生み出します。

指揮 | 園田隆一郎 演出 | 石橋義正 管弦楽 | 京都市交響楽団

振付 | 藤井泉

出演 | 森谷真理(歌)、アオイヤマダ、茉莉花(コント・ジョン)
池ヶ谷奏、薄田真美子、斉藤綾子、高瀬瑠子、中津文花、松岡希美(ダンス)

曲目 | ラヴェル: ボレロ
ストラヴィンスキー: 花火
ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲
ラヴェル: 歌曲集《シェエラザード》
ストラヴィンスキー: バレエ組曲《火の鳥》(1919年版)

園田隆一郎／Ryuichiro Sonoda

2006年、シエナのギアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』の他、カタニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会などを指揮した。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ね、オペラと交響曲の両分野で活躍する指揮者の一人である。2017年度第16回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。

石橋義正／Yoshimasa Ishibashi

1968年京都生まれ。TV番組『バミリオン・プレジャー・ナイト』『オー!マイキー』や、映画『狂わせたいの』『ミロクローゼ』等を監督・製作。伝統芸能やダンスとメディアテクノロジーを融合した舞台作品、美術館でのインスタレーションの発表など、テレビ、アート、舞台、映画と様々なジャンルを渡って独自の創作活動を展開する。京都市立芸術大学美術学部教授。

日時

2021年
1月17日〔日〕
14:00開演

会場

メインホール

全席指定 S席6,000円／A席4,000円／B席3,000円／ユースS席(25歳以下)3,000円

[10月24日(土)一般発売開始]

●ロームシアター京都5周年記念セット券対象公演(一般S席セット券9,000円)

主催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

シーサイドタウンに住むこと

松田正隆

ツヒに住んだ感覚をえられた、あの買い物や散歩のルーティンという日常の発生は同時に一度として同じ出来事に感じることがなかった習慣のこともである。つまり不思議な持続性というのは、ルーティンであるにもかかわらず、その広がりや一定の間隔の時の刻みの内側に日々その時々の特異な場所性や時間性に出会い続けているということだった。簡単に言えば、今日の街路の日差しの加減は昨日のそれとはいささか違うということである。それを、住むようになると感じることができるようになる。それは当たり前のように、びっくりすることなのではなかろうか。

住むべき人が住むべき場所を訪れて、そこにある期間を滞在することでそこが住むべき領域（住居）へと定められるとも言えるが、その人のほうもそこに留まることでその場所のほうからの働きかけを受け容せねばならず、そこに留まるその人の身体も精神も同時に場所のほうからの磁力に支配されることになる。

ここで、「住む」の主体が再度問われなければならない。住む（住んでいる）のは誰なのか、何なのか。

人が場所に住みなす行為を何かの「滲み出し」のように捉えてみると、住むという主体のありようが、境界線を失うような感覚になる。住む場所に住む人が滲みゆくのと同時にそこを住みなす人に場所のほうからも何かが侵入して来る。このようにして「住むこと」はその領域である「町」や「家」とともに特異な個性化を遂げ、「住むこと」自体が主体化するのである。誰でもない何でもない、いくつかの要素からなる複合体の「住みなし」が行われるのである。

個性化と書いたが、住むことに滲むような拡散と収縮があるとすれば、そこには液体状・気体状のものへの生成変化も含まれるはずだ。そこには誰かが住んでいる気配がするという場合の「気配」も住むことが生み出す何かの放出である。まるで、葉脈という舞台上で植物が日光とともに光合成を行うように住むこと。演劇の舞台へ人が現れることも、そのような「住みなし」であると考えてみたい。

「シーサイドタウン」は海辺の町と一軒の家についての演劇である。その家は空き家なのだが、そこに一人の人物が帰郷するというモチーフから戯曲を書く作業は始まった。

考えてみると私はこの帰郷のモチーフに取り憑かれ続けている。それは、しかし、生まれついた場所（ふるさと）に帰るというよりも、見知らぬ異境にたどり着くというイメージなのだ。だから、異境に帰郷するというのは、放浪者が故郷にもどって来るということでは割り切れないなにかがある。私にとつての帰郷という概念には、うまく定住と放浪が二つに分割できない「もどかしさ」が含まれている。旅をすまかにすることもできるし、住み続けながらもそこが旅のさなかになることもあるだろう。つまり、定住と放浪は互いに浸透し合っている。

人が「町」や「家」に住むということ。それはどういうことなのだろうか。町も家もある空間の拡がりをもった場所なのだから、「場所を占める」ことが「住む」ということなのだろう。「占める」というのは、ある空間的なテリトリーを確定させることなのかもしれない。確かに領域が定められると「住む」という感じが湧いてくる。そのとき領域を定めているのは誰なのか、何なのか。

私は昨年、ドイツのライプツツヒという町に一年ほど住んでいたのだが、住所を得て住人として登録されたことで市民感覚をえられたようには思えたが、その町に住みなす感覚というのは当然ながら登録の問題ではなかったように思う。そこに単に「いる」という感覚から「住む」感覚に移行したのは、毎日の習慣が生じてきた頃のことだった。たとえば、買い物や散歩のコースが次第に決まっていって、それがルーティンになったときにはなかったか。

「住む」ということには誰かが「いる」（あるいは何かが「ある」）ということとはいささか違う何かが滲んでいる。その「なんらかの滲み」は空間的には幅のような拡張性だし時間的には一種の不思議な持続性のことだ。私が、徐々にライプツ



イラストレーション：カナイフユキ

松田正隆が10年ぶりに京都で演出作品を上演。
出身地・長崎をめぐる物語を、レパートリー作品として創作します。

時代を超えて末永く上演される劇場のレパートリー演目を製作することを念頭に、2017年から継続して取り組むプロジェクト「レパートリーの創造」。第四弾は、長らく京都を拠点に活動してきた劇作家・演出家の松田正隆に、ロームシアター京都の新たなレパートリー作品を委嘱します。

自身が代表を務めるマレビトの会では、新しい演劇のつくり方を探求し、近年では実験性の強い作品を発表してきた松田が、今回は自身の出身地である長崎を題材に、満を持して新作戯曲を書き下ろします。後進育成、若い世代との共同作業にも積極的に取り組む松田との共同創作や、すでに実施した出演者の公募／オーディションを通して、新たな才能との出会いを生み出していきます。また、創作のプロセスを記録・公開し、作品が出来ていく過程も共有することで、劇場で作品を創ることの意味や魅力をお伝えしていきます。

作・演出 | 松田正隆（劇作家・演出家・マレビトの会代表）
出演 | 生実慧、鈴鹿通儀、大門果央、田辺泰信、深澤しほ、横田僚平

あらすじ | この国の西の果て、海辺の町（N市）。一軒の空き家に一人の男（シンジ）が住みはじめる。シンジは東京で職をなくし行き場を失い、故郷に帰ってきた。荒廃していく地方の町で、地縁と血縁が重くのしかかり、人と人の関係は変わらない。シンジもまた、その関係性に戻っただけのような生活を送る。けれども、「何かの兆し」は常に現れ、人々はそれを感じ取っていく。

松田正隆 / Masataka Matsuda

劇作家・演出家・マレビトの会代表

1962年、長崎県生まれ。96年『海と日傘』で岸田國士戯曲賞、97年『月の岬』で読売演劇大賞作品賞、99年『夏の砂の上』で読売文学賞を受賞。2003年「マレビトの会」を結成。主な作品にフェスティバル・トーキョー2018参加作品『福島を上演する』など。2012年より立教大学現代心理学部映像身体学科教授。ロームシアター京都の「劇場の学校プロジェクト」でも二年続けて講師を務めている。



主催

ロームシアター京都開館5周年記念事業
レパートリーの創造

松田正隆作・演出『シーサイドタウン』

日時

2021年
1月27日[水]
-31[日]

会場

ノースホール



全席指定 一般3,500円／ユース(25歳以下)2,000円／高校生以下1,000円 [11月14日(土)一般発売開始]

企画製作 | ロームシアター京都 主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

主催

ロームシアター京都開館5周年記念事業

ハンブルク・バレエ団 「ベートーヴェン・プロジェクト」



© Kiran West

2020年に生誕250年を迎えたベートーヴェンの楽曲と心象を描く 京都だけで特別に上演される日本初演のプロジェクト

緻密な演出と劇的な仕掛けによって人間を描き出し、あるいは鋭い美意識と解釈をもって音楽の中に豊かな感情世界を見出しみせるジョン・ノイマイヤー。2015年に第31回「京都賞」（思想・芸術部門）を受賞したことから、京都との縁が生まれ、2018年2月にはガラ公演＜ジョン・ノイマイヤーの世界＞の上演が、ロームシアター京都で実現しました。今回上演するのは、2018年に世界初演されたばかりの「ベートーヴェン・プロジェクト」の日本初演。2021年の来日公演では、京都だけで特別に上演される演目です。ベートーヴェンの音楽の世界を探求するノイマイヤーの長年の想いを実現したプロジェクトをもって、再び京都に登場します。

振付・演出 | ジョン・ノイマイヤー **出演** | ハンブルク・バレエ団
演奏 | 大阪フィルハーモニー交響楽団

ジョン・ノイマイヤー／John Neumeier

1939年、米国ウィスコンシン州ミルウォーキー生まれ。生地ではバレエを始め、その後シカゴで学ぶとともに、ミルウォーキーのマルケット大学に進学、ここで最初の振付作品を制作した。その後さらにコペンハーゲンやロンドンの英国ロイヤル・バレエ学校でバレエを学び、1963年にシュツットガルト・バレエ団に入団。ソリストとして活躍するとともに、振付を続けた。ハンブルク・バレエ団はドイツをリードするカンパニーに成長し、国際的な評価を獲得。振付家としては、現代的でドラマティックな作品を追求するいっぽうで、バレエの伝統を守り続けている。2015年、稲盛財団より京都賞（思想・芸術部門）を授与された。



©Kiran West

全席指定 S席20,000円／A席15,000円／B席8,000円／C席6,000円／D席4,000円／
ユースS席（25歳以下）10,000円 [11月14日（土）一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市 助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

主催

ロームシアター京都開館5周年記念事業

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING

日時

2021年2月3日〔水〕
-3月28日〔日〕

会場

サウスホール、ノースホール
京都芸術センター、
京都芸術劇場 春秋座 ほか



Photo by Yuki Moriya

先鋭的な表現を約2ヶ月間、京都を舞台に展開します。2020年度からは、共同ディレクター3名によるプログラムが新たにスタート。既存の形式を飛び越え、舞台芸術の新しい可能性に挑戦する表現に注目します。さらに、観客との多彩な交流プログラムを推進し、フェスティバルが舞台芸術を通じた対話と思考のプラットフォームとなることを目指します。

プログラムの発表は12月を予定 <https://kyoto-ex.jp>

主催 | 京都国際舞台芸術祭実行委員会 [京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都芸術大学 舞台芸術研究センター]

主催

ロームシアター京都開館5周年記念事業

シリーズ舞台芸術としての伝統芸能 Vol.3

人形浄瑠璃 文楽



© 桂 秀也

木ノ下歌舞伎主宰・木ノ下裕一をスーパーバイザーに招き、 『木下蔭狭間合戦「竹中砦の段」』と『端模様夢路門松』、 文楽の豪華二本立てを企画！

現代を代表する人形遣いのひとり、三世桐竹勘十郎を筆頭に、この企画だけのスペシャルな座組が実現しました。かつてポピュラーでありながら、昭和に入り上演が途絶えていた『木下蔭狭間合戦「竹中砦の段」』。人形浄瑠璃として、87年ぶりに待望の完全復活上演。

『端模様夢路門松』は、桐竹勘十郎による珠玉の新作。三人遣いの人形に憧れる、いつもは端役の”つめ人形”が主役。文楽の舞台裏で繰り上げられるパロディ要素がたっぷりの作品。初心者から見巧者まで楽しめる特別な文楽の2本立て公演です。
※2020年2月に予定しており、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となった公演をあらためて開催いたします。

太夫 | 竹本 錠太夫、竹本 碩太夫
三味線 | 鶴澤清介、鶴澤藤蔵 ほか **人形遣い** | 桐竹勘十郎、吉田玉男、吉田勘彌 ほか
スーパーバイザー | 木ノ下裕一

上演後のディスカッション | 出演：桐竹勘十郎、鶴澤藤蔵、木ノ下裕一

全席指定 【1階席】一般6,000円／ユース（25歳以下）4,000円
【2階席】一般4,000円／ユース（25歳以下）2,000円 [10月17日（土）一般発売開始]
◆ サウスホール演劇セット券対象公演（一般8,500円、ユース5,000円）[予定枚数終了]

主催 | 京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）企画製作 | ロームシアター京都 制作協力 | 木ノ下歌舞伎／一般社団法人樹来舎、一般社団法人 日本の伝統芸能 協力 | 国立文楽劇場 特別協賛 | 公益財団法人稲盛財団

共催

PARCO劇場オープニング・シリーズ「ねずみの三銃士」第4回企画公演
「獣道一直線!!!」
じゅうどういつちゅくせん



**ねずみの三銃士企画公演第4弾は、
山本美月、池谷のぶえの人気実力派に加え、
脚本を担当してきた宮藤官九郎も今回初出演!**

演劇界のチームリーダーである、生瀬勝久、池田成志、古田新太が「今、一番やりたい芝居を、自分たちの企画で上演したい!」思いで結成された「ねずみの三銃士」による企画公演。演劇界を率引するねずみの三銃士に、一筋縄ではいかない個性豊かなゲストを迎えて贈る本作は、3つの事件を軸にブラックな笑いを交えながらもどこか不気味で中毒性があること間違いなしです。

作 | 宮藤官九郎

演出 | 河原雅彦

出演 | 生瀬勝久 池田成志 古田新太 山本美月 池谷のぶえ 宮藤官九郎

あらすじ | 一面識もない独身男性3人が殺害された。殺害方法も三者三様。無関係と思われた3つの事件。被害者の共通点は、大金を持っていて、婚活サイトに登録していた。そして同じメーカーのED治療薬を飲んでた。事件に関心を持ったドキュメンタリー作家が取材を続ける中で浮かび上がってきた1人の女性の存在。『苗田松子』。3人の被害者は、苗田松子と名乗る女と、関係を持っていた。なぜこんな女に騙されるのか。男たちは毫(もうろく)碌してたとしか思えない。しかし、苗田松子を取材するうちに自身も事件の闇に取り込まれ……。

ねずみの三銃士シリーズとは? | 「ねずみの三銃士」こと生瀬勝久・池田成志・古田新太が「今、一番やりたい芝居を上演したい」と企画。この「ねずみの三銃士」に人気脚本家の宮藤官九郎、演出家の河原雅彦が加勢し、演劇としてシリーズ化した。第1回企画公演「鈍獣」(2004年)では宮藤官九郎が第49回岸田國士戯曲賞を受賞、のちに映画化もされ話題となった。さらに「印獣」(2009年)、「万獣こわい」(2014年)を上演し、「万獣こわい」にて第22回読売演劇大賞優秀作品賞を受賞するなど、演劇史に残る話題作を上演してきた。



日時
11月19日[木]
-23日[月・祝]
会場
メインホール

全席指定 11,000円 [10月25日(日)一般発売開始]

企画 | ねずみの三銃士 プロデュース | 株式会社パルコ 主催 | サンライズプロモーション大阪 協力 | 関西テレビ放送
共催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

演劇 / THEATER

主催

木ノ下歌舞伎『糸井版 撰州合邦辻』

ロームシアター京都 レポートリー作品



ロームシアター京都 レポートリーの創造 木ノ下歌舞伎『糸井版 撰州合邦辻』 2019年2月 撮影: 東直子

「レポートリーの創造」シリーズ第二弾作品、早くも再演決定!
古典と現代が往来するダイナミックな舞台がふたたび。

ロームシアター京都の「レポートリーの創造」シリーズ第二弾として、2019年2月に上演された本作。新曲の追加と増補、新キャストの融合で、さらなる進化／深化を遂げる決定版として早くも再演します。原典とされる能『弱法師』や説経節『しんとく丸』などの要素にあらためて光を当て、都市に生きる人々の剥き出しの「生」を、時空を超えて、今また照らし出します。

作 | 菅専助、若竹笛躬 **監修・補綴・上演台本** | 木ノ下裕一

上演台本・演出・音楽 | 糸井幸之介 (FUKAIPRODUCE羽衣)

音楽監修 | manzo **振付** | 北尾亘

出演 | 内田慈 土屋神葉 谷山知宏 永島敬三 永井茉莉奈
飛田大輔 石田迪子 山森大輔 伊東沙保 西田夏奈子 武谷公雄

あらすじ | 大名・高安家の跡取りである俊徳丸は、才能と容姿に恵まれたがゆえに異母兄弟の次郎丸から疎まれ、継母の玉手御前からは許されぬ恋慕の情を寄せられていた。そんな折、彼は業病にかかり、家督相続の権利と愛しい許嫁・浅香姫を捨て、突然失踪してしまう。しばらくして、大坂・四天王寺に、変わり果てた俊徳の姿があった。彼は社会の底辺で生きる人々の助けを得ながら、身分と名を隠して浮浪者同然の暮らしをしていたのだ。そこに現れる、浅香、次郎丸、玉手と深い因縁を持つ合邦道心。さらに、誰にも明かせない秘密を抱えたまま消えた玉手が再び姿を見せた時、物語は予想もしない結末へと突き進む。

日時

11月2日[月]
19:00開演
3日[火・祝]
14:00開演

会場

サウスホール

全席指定 一般3,500円／ユース(25歳以下) 2,000円／高校生以下1,000円 [発売中]
◆ サウスホール演劇セット券対象公演 (一般8,500円、ユース5,000円) [予定枚数終了]

企画制作 | ロームシアター京都、木ノ下歌舞伎／一般社団法人樹来舎 製作 | ロームシアター京都 共同製作 | 穂の国とよはし芸術劇場PLAT、KAAT神奈川芸術劇場 主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

舞踊／DANCE

主催

フランソワ・シェニョー&ニノ・レネ
「不確かなロマンス
—もう一人のオーランドー—」



© Nino Laisné



スペイン音楽・舞踊の歴史を、ジェンダーを超えた
独舞・独唱でたどる旅。世界から熱視線を集める新時代の
振付家による、待望の来日公演！

KYOTO EXPERIMENT2018の公演も記憶に新しいフランスの俊英振付家・ダンサー、フランソワ・シェニョーが3度目の来日を果たします。本作はスペイン音楽・舞踊の伝統に、現代のジェンダー観を重ね合わせた舞台として2017年に初演され、世界各地で称賛を集めた話題作です。シェニョーとアーティスト ニノ・レネが共同で構想した本作は、トランスジェンダーの青年貴族が主人公のヴァージニア・ウルフの小説『オーランドー』を想起させるもので、シェニョー自身が性を超越し、外見とアイデンティティを変容させながら見事なソロダンスと歌唱を繰り広げます。テオルボ、バンドネオン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、パーカッション、バロックギターの音色に乗せて、たった一人の身体が歴史／芸術／社会のごとく絶え間なく変化し続ける圧巻の舞台です。

ダンス・歌唱 | フランソワ・シェニョー
テオルボ・バロックギター | ダニエル・ザピコ バンドネオン | ジャン＝バティスト・アンリ
ヴィオラ・ダ・ガンバ | フランソワ・ジュペール＝カイエ パーカッション | ペレ・オリヴェ
会場 サウスホール コンセプト・音楽監督・演出 | ニノ・レネ コンセプト・振付 | フランソワ・シェニョー

フランソワ・シェニョー／François Chaignaud

振付家。フランス・レンヌ生まれ。6歳からダンスをはじめ、2003年パリ国立高等音楽・舞踊学校卒業。その後、ボリス・シャルマツ、エマニュエル・ユイン、アラン・バファード、ジル・ジョバンといった多くの振付家やダンサーとコラボレーションを展開。『不確かなロマンス—もう一人のオーランドー』（2017年）のような官能的かつ崇高な作品で、ダンスにおける肉体的な厳密さ、歌の何かを喚起する力、さらには歴史的な言及の間に立ち上る空間において、身体の可能性を追求してきた。2005年以来、セシリア・ベンゴレアと共にカンパニーVlovajob Pruを結成し、『TWARK』、『DUB LOVE』などを世界各国で発表し、高い評価を得ている。また彼らは、リヨン・オペラ・バレエ、ロレーヌバレエ、ヴッパータール舞踊団など欧州の重要なダンスカンパニーに作品を提供している。



©Laurent Poleo Garnier

ニノ・レネ／Nino Laisné

アーティスト。フランス・ボルドーのÉcole Supérieure des Beaux-Arts de Bordeauxでビデオと写真を専攻し、2009年に卒業。並行して、南アメリカの伝統曲を中心としたギターの演奏も学び、現代美術、音楽そして映画を組み合わせた作品を創作することとなる。彼の作品はポルトガル、ドイツ、スイス、エジプト、中国、アルゼンチンといった国々でも発表され、レジデンスによる新作制作の委嘱も定期的に受けている。また、最近のビデオプロジェクトは、マルセイユ国際ドキュメンタリー映画祭（フランス）、Papay Gyro Nights Art Festival（香港）、トルーカ国際映画祭（メキシコ）など、各地の映画館やフェスティバルで上映されるなど、注目を集めている。マドリードのアカデミー・ド・フランスのメンバーであり、カサ・デ・ヴェラスケスのレジデント・アーティスト。



©Magali Pomier

全席指定 一般4,000円／ユース(25歳以下) 2,500円／18歳以下1,000円 [10月25日(日)一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市 共同招聘 | 彩の国さいたま芸術劇場、北九州芸術劇場 助成 | 一般社団法人全国モーターポート競走施工者協議会、一般財団法人地域創造、アンスティチュ・フランセ パリ本部、文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）| 独立行政法人日本芸術文化振興会 後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本

音楽 / MUSIC

主催

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2020
モーツァルト.. 歌劇「魔笛」

日時

10月27日[火]

28日[水]

13:00開演(両日)

会場

メインホール

ウィリアム・ケントリッジ演出
「魔笛」を2018年に続き上演！

“ジングシュピール”（歌芝居）として親しみやすいこの『魔笛』は、「おいらは鳥刺し」「パ・パ・パ」といった親しみやすい曲や、夜の女王の有名なアリアなど、聴きどころが満載です。ウィリアム・ケントリッジ演出のこのプロダクションは、ケントリッジならではの人間哲学に満ち、ビジュアルアートとしての迫力も相まって、観客に多くの問いを投げかけます。ケントリッジは日本で初の大規模展覧会（京都国立近代美術館）、京都賞受賞など京都の地と縁が深く、2018年の上演でも大きな反響を呼びました。

演目 | モーツァルト作曲：歌劇「魔笛」【全2幕】（ドイツ語上演／日本語字幕付）

指揮 | 園田隆一郎 演出 | ウィリアム・ケントリッジ

美術 | ウィリアム・ケントリッジ、ザビーネ・トイニッセン

衣裳 | グレタ・ゴアリス 照明 | ジェニファー・ティプトン

合唱 | 新国立劇場合唱団 管弦楽 | 京都市交響楽団

ゼラストロ | 金子 宏 タミーノ | 鈴木 准 夜の女王 | 安井陽子

パミーナ | 馬原裕子 パパゲーナ | 九嶋香奈枝 パパゲーノ | 近藤 圭 ほか

全席指定 高校生以下 2,200円／一般4,400円

※1日目(10/27)のみ、一般に当日券を販売いたします。詳細は10月上旬にWEBサイトでお知らせします。

主催 | 京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、新国立劇場 協賛 | ローム株式会社
助成 | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション／令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



音楽の可能性を問い直し
拡張するバンド、サンガツが
ロームシアター京都に初登場！

ポスト・ロックを牽引するジム・オルークのプロデュースによりデビューした東京拠点のバンド、サンガツ。音楽の枠にとらわれない、広く音を使った表現を創造することを目指した独自の

活動で、静かに注目を集めています。チェルフィッチュなどの演劇カンパニーやダンス・映画への参加など、他ジャンルとのコラボレーションも多数手掛ける彼らがロームシアター京都で行うのは、その日・その場だけのために作曲された新作演目。「遊び」の中から音楽の新しい文法を一つずつ作り直し、有り得べきもう一つの音楽の可能性を提示します。

メンバー | 小泉篤宏（ギター）、小島創太郎（ギター）、千葉広樹（ベース）、宿谷一郎（ドラム）、富樫大樹（ドラム）、田中佑司（ドラム）、石上宗太郎（ドラム）

全席自由 前売3,000円／当日3,500円 [発売日調整中]

主催 | サンガツ 共催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）



撮影：寺司正彦／提供：新国立劇場

共催

サンガツ
「?Music?」

日時

2021年

2月19日[金]

19:30開演

20日[土]

15:30開演

会場

ノースホール

ほか

総合 / MULTIDISCIPLINE

主催

KYOTO PARK STAGE 2020



KYOTO PARK STAGEは、ロームシアター京都で開催する野外イベント「OKAZAKI PARK STAGE 2020」を中心に、京都市内のさまざまな“広場（PARK）”を“舞台（STAGE）”に変え、多様な人々をつなぐハブとなるイベントです。

日程 10月3日[土] - 2021年2月 詳細は、「KYOTO PARK STAGE 2020」特設サイトをご覧ください
<https://rohmtheatrekyoto.jp/jp/kyotoparkstage>

OKAZAKI PARK STAGE 2020

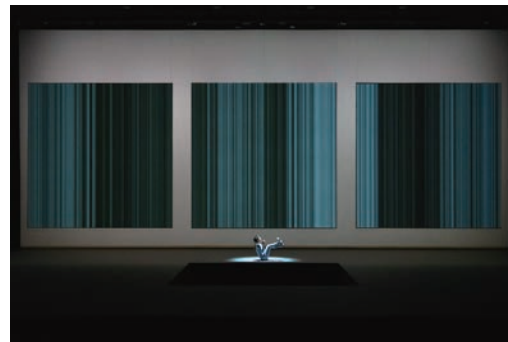
日程 10月3日[土] - 25日[日] 会場 ローム・スクエア ほか

- 1 ニュイ・ブランシュ KYOTO 2020関連イベント
OKAZAKI PARK STAGE
スペシャルライブ&映像上映
10月3日[土] 17:00～21:30
音楽ライブや影絵パフォーマンス、アンスティチュ・フランセ関西のセレクトによる映像上映やDJパフォーマンスを行います。
- 2 おそとで人形劇
10月3日[土] 10:30～14:00
4日[日]、18日[日] 各10:30～12:30
参加団体 | 糸あやつり人形劇団みのむし、人形劇団京芸、人形劇団クラルテほか
- 3 ローム・スクエア ライブ
10月4日[日]、18日[日]
各13:00～16:00
岡崎地域を中心とした地元のアーティストや市民参加によるライブステージです。
- 4 空間現代×三重野龍「ZOU」
10月17日[土] 20:00～21:10
京都拠点のバンド「空間現代」の最新長編楽曲「象」にデザイナー三重野龍のグラフィックを生成、併置、交錯させて再構成する「ZOU」を発表します。
出演 | 空間現代 グラフィック | 三重野龍
- 5 中庭シネマ
10月21日[水] 19:00～、
- 6 岡崎ワールドミュージックフェスタ2020
10月24日[土] 11:00～17:00
京都岡崎エリアの飲食店や施設が主体となって実施している音楽祭です。
- 7 岸田繁楽団 上映会
10月25日[日] 時間未定
映像出演 | 岸田繁 (Vo・Gr)、須原杏 (Vn)、石若駿 (Dr)、浦田拳一 (Fg) ほか
- 8 チェルフィッチュ×金氏徹平『消しゴム畑』
10月3日[土] - 25日[日] 10:00～19:00
人とモノと空間と時間の新しい関係性を提示する「消しゴム」シリーズの“日常空間版”の展示です。
作・演出 | 岡田利規 セノグラフィー | 金氏徹平
映像出演 | 青柳いづみ、安藤真理、板橋優里、原田拓哉、矢澤誠、米川幸リオン
- 9 アンスティチュ・フランセパリ本部
協力による映像展示
10月3日[土] - 25日[日] 10:00～19:00
※1でも上映する作品です。

参加無料 申込不要 ※8.9は催物がある場合は閉館までご覧いただけます

ダムタイプ 新作パフォーマンス「2020」上映会

日時 10月16日[金]、17日[土] 各15:00/19:00開演 18日[日] 11:00/15:00開演 会場 サウスホール



撮影：福永一夫

18年ぶりのダムタイプの新作として、国内外から高い関心と注目を集め、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために上演中止となった、パフォーマンス作品「2020」※の上映会を開催。現代の人間社会が直面する事象について、洞察と探求を繰り返した先に完成した幻のパフォーマンス作品を、初公開します。

※KYOTO STEAM—世界文化交流祭—2020のプログラムのひとつとして制作しました。

全席指定 一般2,000円／ユース（25歳以下）1,000円 [発売中]

共催 | KYOTO STEAM—世界文化交流祭—実行委員会 協力 | 株式会社タケナカ

ニュイ・ブランシュKYOTO 2020

日時 10月3日[土] 会場 京都市内各地

「ニュイ・ブランシュ KYOTO 2020」は、京都市の姉妹都市であるパリ市発祥の「ニュイ・ブランシュ（白夜祭）」に着想を得た、一夜限りの現代アートの祭典です。市内各所のユニークベニューで、ライブパフォーマンスや映像上映、展示などが実施されます。

ダンス映像製作 アクション！（仮称）

映像公開 | 2021年2月（予定）

ダンスアーティストと映像作家のコラボレーションによる「ダンス映像作品」を製作します。ユニークベニューを活用し、京都の新たな魅力を紹介するものや教育や医療福祉分野と連携し、地域の人々と一緒に創作するものなど、オンラインでの表現に挑戦します。

京都コンサートホール 音楽シリーズ

- 1 京都北山マチネ・シリーズ
会場 京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ
Vol.3「美しきハーブに魅せられて」
日時 10月21日[水] 11:00開演
出演 | 福井麻衣（ハーブ）
全席指定 500円（完売）
Vol.4「クラシック・ギター、その芸術」
日時 2021年2月26日[金] 11:00開演
出演 | 山田唯雄（ギター）
全席指定 500円 [10/21（水）チケット発売]
問合せ | 京都コンサートホール TEL.075-711-3212
後援 | 村田機械株式会社
- 2 ロビー・コンサート Vol.6
「佐藤響チェロコンサート」
会場 京都コンサートホール
1階エントランスホール
日時 2021年2月27日[土] 11:00開演
出演 | 佐藤響（チェロ）
入場無料 [限定50席・事前申込制]
※申込詳細は京都コンサートホール
WEBサイトでご確認ください
問合せ | 京都コンサートホール事業企画課
TEL.075-707-6430

主催 | 文化庁、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、京都市文化庁令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「JAPAN LIVE YELL project」

ホリデー・パフォーマンス

日時

通年[全3回]

会場

3階共通ロビー

ほか

ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業
『紙のサティさん』アトフリ・シアター from ポーランド



カサカサ、ポロロン♪
エリック・サティの美しい世界

フランスの作曲家エリック・サティの音楽をもとに作られた、1歳から楽しめるチャームングな作品がポーランドからやってきます。大きくて真っ白な紙をねじったり、やぶったり、踊ったり…。ガサガサ、カサカサ、ビリリ、紙の音とピアノの音が混ざり合って、やがてサティさんの幻想的な世界へ。

日時・会場 | 2021年3月17日[水] 京都市北文化会館
18日[木] 京都市呉竹文化センター
19日[金] 京都市右京ふれあい文化会館
各日11:00、15:00開演

推奨する年齢 | 1～5歳のこどもたちと大人

大人1,000円／こども(0歳～18歳) 300円 [2021年2月13日(土)一般発売開始]

主催 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館)、京都市 広報・運営協力 | 人形劇団京芸
第20回アンテジ世界大会／2020国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル 参加作品



Photo:Toshiaki Nakatani

2019年度よりはじまった、音楽を中心としたパフォーマンスを無料でお楽しみいただけるシリーズです。ジャンルにとらわれない多様な音楽やパフォーマンスを紹介し、日常で気軽にアートに触れる機会を創出します。

Vol.5 | 9月6日[日] おおしまたくろう(終了)

Vol.6 | 2021年2月(予定)

Vol.7 | 2021年3月(予定)

参加無料 予約不要

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

主催

プレイ！シアター in Spring 2021
ステージプログラム

主催

ロームシアター京都×京都芸術センター

U35創造支援プログラム“KIPPU”



①『蜜をそ削ぐ』(2019年 STスポット) photo takaramahaya



②『ささやかなさ』(2019年) ©Dan Åke Carlsson

次代を担う若手アーティストが京都から羽ばたく！
新たな創造支援プログラムの3年目。

若手アーティストの発掘と育成を目的に、ロームシアター京都と京都芸術センターが協働して行う創作支援プログラム“KIPPU”。3年目は、中川裕貴(京都)、シラカン(神奈川)、スペースノットブランク(東京)の3組を採択しました。この世界に存在はするけれど目に見えないモノ・コト(例えば四季、死、花粉症)を過剰な見立てや奇抜な美術の中、独特な言い回しの会話を中心に可視化させ、観客に向け表現するシラカン。新しい表現思考や制作手法を開発しながら舞台芸術の在り方と価値を探究し、環境や人との関わり合いと自然なコミュニケーションを基に有機的な作品を創造するスペースノットブランク。個性あふれる団体のフレッシュな感覚によって、ノースホールにどのような空間が立ち上がるのか、ご期待ください。

参加団体 | ①シラカン(神奈川)新作公演『ぞう騒々』
②スペースノットブランク(東京)新作公演『光の中のアリス』
※中川裕貴(京都)「アウト、セーフ、フレーム」は7/31～8/2に開催しました

シラカン/shirakan

シラカンは、“ヨーモア”なモチーフと“ひとぼと”がこもごもしている団体。2016年結成。7人のメンバーは西岳作演出の演劇作品のみならず、日本舞踊・作家・美術・デザイン等それぞれが幅広く活動している。2019年より横浜を拠点にし、全国で活動を展開している。全国学生演劇祭2017にて観客賞・審査員賞・大賞の三冠を達成。
※ヨーモアとは、ユーモアの向こう側という意味の造語です。

スペースノットブランク/Ayaka Ono & Akira Nakazawa Spacenotblank

小野彩加と中澤陽が舞台芸術を制作するコレクティブとして2012年に設立。舞台芸術の既存概念に捉われず新しい表現思考や制作手法を開発しながら舞台芸術の在り方と価値を探究している。環境や人との関わり合いと自然なコミュニケーションを基に作品は形成され、作品ごとに異なるアーティストとのコラボレーションを積極的に行なっている。

全席自由 ①一般2,800円／高校生以下1,800円
②一般3,400円／30歳以下・60歳以上2,400円／18歳以下600円
[①11月7日(土) ②10月17日(土) 一般発売開始]

日時

①
12月3日[木]
-6日[日]

②
12月10日[木]
-13日[日]

会場

ノースホール

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市
※上記は企画の主催クレジットとなります。各公演は、主催:参加団体、共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市で開催します。 助成 | 令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業(①シラカンのみ)

学び／参加

主催

地域の課題を考えるプラットフォーム

「地域の課題を考えるプラットフォーム」は、地域と劇場の双方向的なコミュニケーションを促進させるため、2017年度から実施しているプロジェクトです。2019年度、2020年度を通じて、誰にでも開かれた劇場のあり方を模索、実践しています。

昨年度に引き続き、アドバイザーに長津結一郎氏（九州大学大学院芸術工学研究院助教）、市内福祉施設とのコーディネーターに奥山理子氏（みずのき美術館 キュレーター）を迎え、福祉施設等へのヒアリング、市民と共に考えるシンポジウムのほか、特定の演目への障害者の鑑賞支援サポートを実施します。

① 観劇サポート

ロームシアター京都 レポートリー作品 木ノ下歌舞伎「糸井版 摂州合邦辻」公演では、お客様の観劇に際して、以下のご用意しております。ぜひ、ご活用ください。

※公演詳細はp10をご覧ください。

みえない・みえづらいお客様へ

11月3日〔火・祝〕14時の回

1：鑑賞を補助する音声ガイドをご利用いただけます。

2：ご希望の方には地下鉄東西線「東山駅」からの送迎をご利用いただけます。

きこえない・きこえづらいお客様へ

11月3日〔火・祝〕14時の回

1：ポータブル字幕機がご利用いただけます。

2：磁気コイル付補聴器・人工内耳を装着の方に、舞台音声を伝える機器をご用意しています。（補聴器をお持ちでない方には専用受信機の貸出あり）

車椅子でご来場のお客様 | 両回ともに車椅子席をご用意しております。

お申込み 座席位置・提供数に限りがございますので、劇場までご予約・お問合せください。

② 劇場で考える。支えること、支えられること

——舞台作品『Pamilya（パミリヤ）』の映像上映と関連プログラム

人間は、誰もが支える側にも支えられる側にもなります。しかし、その関係は、社会の変化に伴って大きく変わります。「家族」という枠組みは、変わりゆく関係性の縮図とも言えるかもしれません。『Pamilya（パミリヤ）』のタイトルは、タガログ語で家族を意味します。その映像上映と関連プログラム、参加者同士の語り合いを通して、少子高齢化社会における、支えること、支えられることについて考えます。



『Pamilya（パミリヤ）』撮影：富永亜紀子

舞台作品『Pamilya（パミリヤ）』

演出 | 村川拓也 ドラマトゥルク | 長津結一郎

出演 | ジェッサ・ジョイ・アルセナス

13金 14± 15日

13:30

19:30

日時

① 11月3日〔火・祝〕

② 11月13日〔金〕
-15日〔日〕

会場

① サウスホール

② ノースホール

11月13日〔金〕19:30 上映+演出家によるトーク

11月14日〔土〕13:30 上映+レクチャー [日本の介護現場における外国人介護士について]

11月14日〔土〕19:30 上映+演出家によるトーク

11月15日〔日〕13:30 上映+シンポジウム [少子高齢化社会の家族について]

※レクチャーとシンポジウムでは、参加者が自由に話し合える場を設けます。

全席自由 一般1,000円／ユース(25歳以下)500円／高校生・18歳以下無料
[10月12日(月)発売開始] ※上映と関連プログラムはセットです

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 協力 | 一般社団法人HAPS

主催

未来のわたし
劇場の仕事

ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業



ロームシアター京都と京都市ユースサービス協会が連携し、15～30歳の若者に、キャリア形成のきっかけになるよう、劇場の仕事を紹介、体験してもらうプログラムです。この講座をきっかけに、劇場で働く、「未来のわたしの姿」のイメージを膨らませてみませんか？

日程

2021年1月

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、公益財団法人京都市ユースサービス協会、京都市 助成 | 令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

主催

ロームシアター京都
リサーチプログラム

プログラム策定のためのリサーチ、舞台芸術に関わる研究・批評分野と実践の場をつなげる若手人材の育成を目的に、2017年度よりリサーチプログラムを実施しています。2020年度の重点リサーチテーマは、「現代における伝統芸能」「子どもと舞台芸術」、「舞台芸術のアーカイヴ」。さらに自由テーマも設け、6名のリサーチャーが参加しています。

メンター | 吉岡洋（京都大学こころの未来研究センター特定教授）
若林朋子（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授、プロジェクト・コーディネーター）

最終報告会の開催 | 2021年3月23日〔火〕

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

日時

7月
-2021年3月



マルシェ



京都岡崎 蔦屋書店



BOOK & ART GALLERIAでの展示



ルーム・スクエア

ルームシアター京都アセンブリープログラム

ルームシアター京都では、市民に憩いの場を提供し、新しい“京都会館”＝ルームシアター京都を象徴するプログラムのひとつとして、日常的に「アセンブリープログラム」を開催しています。アセンブリープログラムは、「ほんものとの出会い」を作り出す京都岡崎 蔦屋書店（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）と連携し、賑わいを生み出すために行うさまざまなイベントの総称です。ルームシアター京都が目指す劇場文化を育むための入り口として、気軽に参加できるマルシェや読書会などのプログラム、一般参加型のワークショップなどのプログラム、ルームシアター京都自主事業と連動したプログラム、地域施設・団体と連携したプログラムを展開しています。

過去開催したアセンブリープログラムの一例 | マルシェ（岡崎おいない市、岡崎いどりマルシェ、京の手づくりマルシェ ほか）／ワークショップ（ストール染め、抹茶を知って楽しむワークショップ、手作りうちわ ワークショップ ほか）／トークイベント／読書会／DJ イベント ほか



ミュージックサロン （※現在休室中）

ミュージックサロンは、音楽とさまざまな形で触れあえる施設です。本格的な音響施設を備えた120インチスクリーンでのオペラ等の鑑賞や、音楽家によるコンサート、専門家によるセミナー、公演に関連した展示などを随時開催しています。

開室時間 | 10:00～19:00

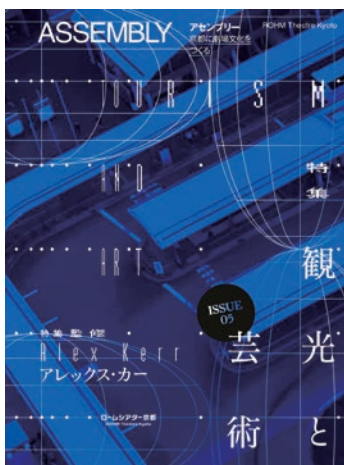
場所 | パークプラザ3階

料金 | 入場無料

※一部整理券が必要な場合あり

共同運営 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、公益財団法人ルーム ミュージック ファンデーション 共催 | ルーム株式会社

機関誌 「ASSEMBLY（アセンブリー）」 Vol.6'7



Vol.01（2018年3月発行・既刊）

Vol.02（2018年12月発行・既刊）

〔特集〕集まりの現在

Vol.03（2019年3月発行・既刊）

〔特集〕子ども／子供／コドモを考える、

Vol.04（2019年10月発行・既刊）

〔特集〕古典のダイナミズム、

Vol.05（2020年3月発行予定）

〔特集〕観光と芸術

Vol.06（2020年10月発行予定）

〔特集〕記憶／記録／アーカイヴ

Vol.07（2021年3月発行予定）

〔特集〕未定

ルームシアター京都自主事業として2017年度より実施しているプログラム「リサーチプログラム」、「いまを考えるトークシリーズ」と連携する機関誌です。「リサーチプログラム」に参加するリサーチャーによる寄稿などを掲載しています。

主催

「いま」を考える トークシリーズ Vol.13～16



機関誌「ASSEMBLY」と連動したトークシリーズ。多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招きます。複雑化し、混迷する現代を「いかに生きるべきか」。その手がかりを探り、ともに考えていきます。

日程

通年〔全4回〕

会場

3階共通ロビー（予定）

参加無料 事前申込優先

主催 | ルームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

TICKET

チケットのご購入について

【WEB】オンラインチケット 24時間購入可／要事前登録（無料）

※詳しくはロームシアター京都または京都コンサートホールのWEBサイトへ

URL <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>

【電話・窓口】ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL 075-746-3201（窓口・電話とも10:00～19:00／年中無休 ※臨時休館日を除く）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、短縮営業する場合あり

【電話・窓口】京都コンサートホール チケットカウンター

TEL 075-711-3231（窓口・電話とも10:00～17:00／第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日）

CLUB

京都コンサートホール・ロームシアター京都 Club会員募集中！

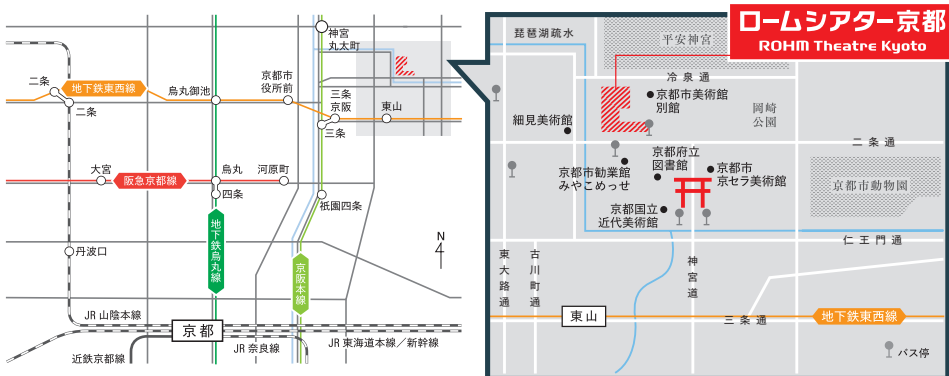
いつでもご入会いただけます。

入会金	年会費	会員期間
無料	1,000 円(税込)	1年間 (4月1日～翌年3月31日)

特典 1 チケット 優先予約 ※指定公演のみ	特典 2 チケットの 割引販売 ※指定公演のみ	特典 3 公演情報等 のご送付
---	--	---------------------------------

詳細はロームシアター京都チケットカウンター（TEL.075-746-3201）までお問合せください。

ACCESS



〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

- 京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- 京阪電鉄「神宮丸太町」駅下車2番出口より徒歩約13分
- 市バス32・46系統「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5・100・110系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

CONTACT

TEL 075-771-6051（代表） **075-746-3201**（チケットカウンター）

FAX 075-746-3366 **URL** <https://rohmtheatrekyoto.jp/>

f @ROHMTheatreKyoto **t @RT_Kyoto** **i @rohmtheatrekyoto**